



車両を薬液で消毒中

## HPより施工事例のご紹介!



今号では車両消毒設備工事の事例をご紹介します。  
釜石市内の工場様より、「車両を自動検知し薬液噴霧ができる設備を設置したい」とのご要望をいただき施工を行いました。  
工期は約1か月。設置場所は傾斜が大きく、消毒設備用の電線や給水の引き込み距離

が長く、苦勞しました。完成した消毒設備は入口から消毒液が噴霧するよう仕組みです。ロードヒーティングも設置し、寒い冬も路面が凍らずに使用できます。側面のフレームは、ステンレス製の分割式パーツのため不具合が発生した場合は簡単に交換できます。

強度は実証済みで、防風シートとポールは暴風雨でもびくともしません。試運転時に噴霧が弱かったため噴霧量を2倍に噴霧角度を鋭角にして、大型車両以外に軽自動車でも消毒液が十分に届くようになり、お客様に喜んで頂きました。ホームページに施工写真や動画を掲載しています。ぜひご覧ください。

# マガジン創刊記念 社長インタビュー!

代表取締役  
村松 守

## 過去~現在~未来への想い(第2回)

今号は入社後に配属された住む(住宅設備の販売・修理リフォーム部門)での日々と、当社が大切にしている「共育」について話します。  
住む(住む)に配属後、まずは「頼まれた事を断らないでやってみよう」と決意し、給湯ボイラーやストーブなどの設置や蛇口など水回りの修繕・テレビアンテナ交換・蜂の巣駆除まで住宅にまつわる様々な不具合の改善に、日々奮闘していました。

加えて私は工事や修理に必要な資格を全く持ってなかったため、資格取得の勉強を始めました。社会人になってからの試験勉強は厳しいものがありました。  
試験は繁忙期中が多いので時間を確保して勉強するのは本当に大変です。時間のない中で、新人からベテランスタッフまで難しい資格に挑戦してくれることに頭が下がります。

社内勉強会を通じて、社員皆が先生であり生徒として、刺激を受けたり与えたりしながら技術と知識を磨きます。現場での知識や技能を高めることは当たり前ですが、それが熱意や向上心を持ち続けることは大変です。  
「共に育つ」という学び合いの環境は長い年月で育まれたものです。今後もこの気持ちが続くよう頑張っていきたいと思っています。

当時の社長(15~17年前)



いつもありがとうございます

25  
JULY.  
2020  
Vol.2

GO  
into  
Action!

信幸プロテック  
TEL 019-697-7200  
FAX 019-697-7209  
SITE srs.co.jp

SHINKOPROTEC  
HOUSE & EQUIPMENT RESQUE.  
5x5 MAGAZINE  
GO GO!



**ユニフォーム リニューアル**  
6月1日よりユニフォームを一新しました。スタッフの家族やお客様から「消防士みたいでかっこいい!」「素敵な制服ですね!」と好評を頂いています。



**Check!**  
**共育委員会の朝勉強会**  
久しぶりの開催となった朝勉強会のテーマは「溶接」。2種類の溶接方法を実践しました。講師の戸川は「思いのほか参加者が多く緊張しました。現場で活用してほしいです。」とコメントしました。



**sumururu ワークショップ**  
今年で4周年を迎えた sumururu! これから順次ワークショップを開催していきます。ペイントやDIY情報も発信していきますのでお楽しみに!

### BRANDING 働き方に「世界観」をもつ?

私たちの会社は働き方に世界観を持っています。それは「空調&設備のレスキュー隊」のように働くこと。  
この世界観を決めるために、以下の項目をスタッフで話し合いました。  
① 自社の事業・特徴は?  
② どんなお客様がいる?  
③ どんな働き方がしたい?  
④ どんなスタッフが欲しい?  
⑤ 会社の歴史を振り返る一番時間をかけたのがです。  
創業者である会長、歴史を知る部長・次長、相談役。会社の「語り部」と言える人々の話を聞くこと7時間超! 若手スタッフ  
これらDNAを出発点に、私たちの最終的ゴール「設備の総合病院」に向け、中期で設定した世界観が「空調&設備のレスキュー隊」です。  
まだ総合病院には到達していません。いち早く行動し、困っている人を助ける。そのための知識・設備・体力に自信がある。そんな集団を目指し、世界観とすることを決めました。  
次号はこの世界観を元に決めたコーポレートメッセージとカラーについて紹介します。

### スタッフ紹介

前社長が楽しそうに会社説明する姿を見てワクワクし、応募を決めました。  
(入社後のきつかけ)  
トータルエンジニアリング部に配属されて10年。主に空調機の設定工事を担当しています。安全性と作業効率を高めるよう工夫しています。仕事はともおもしろく、やりがいがあります。委員会は共育委員会に所属し、委員長をしています。  
お気に入りの自転車です。ポタリングに出かけたり、高校時代の友人達とピニスをしています。

**Instagram はじめました**  
Follow Me~  
SHINKO.OFFICIAL  
#若手県#盛岡#矢中#信幸プロテック#住む~ず  
#プランニング#働き方改革#若手働く  
#地元で働く#就活#新卒採用#中途採用

### お知らせ

お盆休み 8月14日~17日  
9月 事例交流会・全体レクリエーション

仕事の中で「わかりあえなさ」に悩むことはないですか? この本では誰もが「ナラティブ」の解釈の枠組みを持つていられると考えます。その人の経験・背景・立場・常識などで、自分のナラティブに立って相手を見ている限り溝は埋まりません。  
対話の目的は「溝に橋をかけること」  
①準備: 溝に気付く  
②観察: 溝の向き・側を眺める  
③解釈: 溝に橋を架けられる場所やかけ方を探す  
④介入: 新しい橋関係性を築くというステップがあります。  
わかりあえないのが当たり前。一度自分の立場を脇に置いて橋をかけられる人でありたいですね。

専務おすすめ  
**BOOK**  
他者と働く  
「わかりあえなさ」から始める組織論  
宇田川元一(著)  
他者と働く  
他者と働く  
他者と働く